

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	室内は児童にとってわかりやすい構造となっており、また、玄関等には段差があるため、児童が移動する際には職員が付き添い、安全に配慮してまいります。	建物の構造上、完全なバリアフリー化は難しいですが、今後も支援が必要な児童に合わせて配慮しながら対応してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達に活動に合わせた空間となっているか。	6		衛生管理を徹底し、毎日、児童の退所後に清掃・消毒を実施しております。 また、活動内容に応じた机や椅子を移動し、安全に過ごせるスペースを確保しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		その時の状況や児童の特性に応じて、適切な環境設定をおこなっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6		業務が効率よく進むように職員同士で考え、意見を出し合い、業務改善に努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		COMPASS発達支援センター公式Webサイトで公開し、玄関に掲示しております。 また、保護者様のご意向を職員が共有し、今後の改善として話し合っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々、職員で改善点を話し合ったり、会議を実施したりして、より円滑で充実した業務を目指しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、県などが主催する研修や講演会などにも参加するよう努めてまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトに公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		定期的のアセスメントを実施し、児童の状態や保護者様のご意向を踏まえ、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援に関わる全ての職員が日々話し合い、検討しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画を踏まえ、全職員が共通認識をもち、支援に取り組んでおります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		その日その日にあったことを記録に残したり、職員間で共有したりして、確認しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインや支援内容を踏まえたうえで考慮し、設定するよう努めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や特性に合わせたプログラムをチームで立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		全職員で意見を出し合いながら、季節が感じられるような製作活動やイベントを取り入れて、固定化しないよう工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		一人ひとりの特性に応じ、個別・集団での活動を組み合わせ、保護者様のニーズに応じて計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼・昼礼時に支援内容や役割分担の確認などを職員間で話し合い、情報共有をおこなっております。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後は送迎などで難しい面もあり、当日の支援の振り返りや気づいた点は翌朝の朝礼時に全職員で共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録には支援内容だけでなく、その日の体調や様子、気づいた点や気になったことを合わせて記入しております。 また、職員間で情報を共有して支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングをおこない、現状を把握して見直しの必要性を判断しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	6		日常の活動計画においてできるだけ複数の基本活動が取り入れられるようにしております。 日々の活動メニューにおいて、身体を動かす活動と創作活動を組み合わせたり、活動の合間に自立支援的な役割をいれるなど多様な経験を重ねられるようにしております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		児童自身の興味や関心に基づいて活動を選択できるように、複数の活動内容を提示したり日常の中で自分で判断し選ぶ場面を意図的に作ったりすることで自分で決めることができるよう工夫しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と連携を回り、統一した支援が行えるように努めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		行事予定や長期休暇中のスケジュール等、定期的に学校からの情報提供を受けております。 また、警報発令時等も適宜学校からの連絡を受け、事業所の活動計画や送迎スケジュール調整に活用しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前の担当者会議を通して、支援内容などの情報共有と相互理解を回り、支援の方向が統一されるように努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		学校卒業後、障害福祉サービスへ移行する際には、本人・保護者の同意を得たうえで、必要な支援情報の提供・共有をおこなっております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		現在、地域の児童発達支援センターとの連携を回る機会はありません。	今後、研修の機会があれば参加し、連携を回ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		個人情報保護のため、保育所等との交流はしていませんが、同じCOMPASSの事業所と交流する機会を設けております。	個人情報保護の観点により、要望があれば考慮し、機会を設けて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		定期的に参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時などで、その日その日の状況や課題を共通理解できるよう努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	日々、保護者様と連携を回り、支援方法など提案しております。	家族等の参加があれば研修の機会や情報提供については、今後要望があれば検討してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		分かりやすく、丁寧に説明できるよう努めております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意見を尊重し、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者様から支援計画にサインをいただいたうえで、支援を実施しております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		家族支援などの時間を設け、保護者様のお気持ちに寄り添いながら、必要な助言を行い、支援につなげております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者会を実施できておりません。	要望があれば、実施を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月おたよりを作成し、発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付の書庫にて厳重に保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童とは一人ひとりに合わせた情報伝達ツールを用い、分かりやすく情報を伝達できるようにしております。 保護者様とは、日頃から、お互いの情報がスムーズに交換しあえるような関係性の構築に努めてまいります。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		事業所行事に地域住民を招待する企画は実施できておりません。	個人情報保護の観点により、保護者様のご意向をうかがいながら考慮してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		年間計画に基づき、実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的な避難訓練をおこなっております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	6		社内で標準化されたアセスメントツールを使用し、状況を把握しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者様と情報共有をおこない、医師の指示書に基づく対応をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に基づき、研修や訓練などおこなっております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に基づいた研修や訓練などをその都度保護者様へ周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しております。 また、ファイルに保管し、事例を振り返り、再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に職員研修を実施し、虐待防止への理解、意識向上に努めております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束は原則としておこないません。生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には、事前に保護者様へ十分な説明をおこない、承諾を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載し、組織的に判断のうえ対応してまいります。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。